

研究機関：広島大学

研究課題名	広島大学病院矯正歯科における不正咬合患者の歯根吸収に関する調査
研究責任者名	医歯薬保健学研究科 歯科矯正学 教授 谷本幸太郎
研究期間	平成 21 年 6 月 1 日(倫理委員会承認後) ~ 平成 36 年 3 月
対象者	平成 9 年 4 月 1 日～平成 35 年 3 月 31 日に広島大学病院矯正歯科に不正咬合を主訴として来院した全年齢の患者のうち、マルチブラケットシステムによる治療を終了しており、治療前後におけるデンタル、オルソパントモグラフ、頭部 X 線規格写真および総合カルテ等の検査資料の揃った症例を調査対象とします。
意義・目的	本研究の目的は矯正治療に伴う歯根吸収の発現の実態をより明確にすることを目的として、広島大学病院の資料を用いて歯根吸収要因と動的治療後における歯根吸収の関連性について臨床統計学的調査を行うこととあります。
方法	治療前後におけるデンタル、オルソパントモグラフ、頭部 X 線規格写真および総合カルテのデータのみを資料として使用します。(個人を特定可能な情報は解析に用いません)
共同研究機関	広島大学内のみの研究になります。
試料・情報の管理責任者	広島大学 教授 谷本幸太郎

麻川